

## 家電製品エンジニア(生活家電)資格審査基準

2025年版

資格要件(期待する水準)	知識要件	
	基礎技術	応用技術
<p>家電製品の不具合診断と処置(ソリューション)および製品設置を的確、かつ迅速に行うために、次の幅広い知識と実践能力を有すること。</p> <p>1. 各種家電製品の基礎理論と動作原理を理解している。</p> <p>2. 不具合の原因をハードウェアとソフトウェア(ネットワーク含む)に切り分けることができる。</p> <p>3. 不具合の原因を製品要因とその他要因に切り分けることができる。</p> <p>4. 論理的で合理性のある診断と処置の方法を理解し、実行できる。</p> <p>5. 必要な治工具・測定器等を適切に使える。</p> <p>6. 安全点検の知識および関連する法規の知識を有し、実行できる。</p> <p>7. 消費者に家電製品の安全で上手な使い方等について、適切な指導をすることができる。</p> <p>8. 家電関連の技術トレンドを認識し、市場に顕在化している先端技術の概要や実務への応用方法、あるいは、その可能性などを理解し、消費者等に分かりやすく説明できる。</p>	<p><b>1.生活家電の基礎</b> ・電気加熱の種類と原理 ・インバーター制御 ・電気安全の点検・修理に必要な測定技術など</p> <p><b>2.冷凍サイクルの基礎</b> ・冷凍の原理、p-h線図</p> <p><b>3.ルームエアコン</b> ・エアコンの原理、主な部品の働き ・圧縮機の回転制御 ・HFC採用エアコン、冷媒について</p> <p><b>4.冷蔵庫</b> ・構造と機能、電気回路 ・ノンフロン冷蔵庫など</p> <p><b>5.除湿機</b> ・温度と湿度の関係など ・除湿方式の種類と原理、特徴</p> <p><b>6.加湿器</b> ・温度と湿度の関係など ・加湿方式の種類と原理、特徴</p> <p><b>7.空気清浄機</b> ・方式の種類と仕組み、特徴 ・大気汚染物質など</p> <p><b>8.換気扇</b> ・改正建築基準法に基づくシックハウス対策 ・換気扇の種類と設置適用例など</p> <p><b>9.洗濯機</b> ・洗濯に関する知識(界面活性剤の働きなど) ・洗濯機(洗濯乾燥機)の種類と構造、特徴 ・安全および保護機能など</p> <p><b>10.電子レンジ</b> ・加熱の原理、タイプ別の構造と機能 ・各種センサーの働き ・過热水蒸気式レンジの特徴など</p> <p><b>11.IHクッキングヒーター</b> ・加熱の原理(電磁誘導加熱)と構造 ・使用できる鍋など</p> <p><b>12.IHジャー炊飯器</b> ・炊飯の一般知識 ・圧力式IHジャー炊飯器の仕組みなど</p> <p><b>13.掃除機</b> ・タイプ別の構造と特徴 ・床ブラシの方式など</p> <p><b>14.温水洗浄便座</b> ・種類と機能 ・方式ごとの洗浄水給水例など</p> <p><b>15.ヒートポンプ給湯器</b> ・エコキュートの仕組みと構造 ・タイプ別の機能など</p> <p><b>16.太陽光発電システム</b> ・発電の原理、太陽電池の性質と特徴 ・住宅用太陽光発電システムの基本構成など</p> <p><b>17.蓄電池システム</b> ・リチウムイオン蓄電池の原理と特徴 ・蓄電池に関する法規 ・V2H(電気自動車の電池利用)など</p> <p><b>18.LED照明</b> ・発光の原理 ・LEDランプの構造と特徴など</p> <p><b>19.生活家電に関する法規</b> ・消費生活用製品安全法、電気用品安全法 ・電気事業法、電気工事士法、家電リサイクル法など</p> <p><b>20.全項目共通事項</b> ・使用上の注意 ・製品安全(安全機構／安全表示) ・施工および設置に関する注意点など</p>	<p>(全項目共通) ・製品の取扱い ・使用上のトラブルとその対応 ・故障症状とその原因 ・故障診断と修理方法 ・設置と調整 ・故障症状と問題切り分け ・信号波形と故障診断 ・回路の動作判定 ・デバイスの良否判定 ・安全な修理、安全点検、機器設置の方法 ・関連法規など</p>